

■重点目標Ⅰ 良質な教育の実践

■重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践

- ①1・2年生：特別選抜類型中心に、主要3教科の学力向上講座として、基礎・応用の2クラス編成で放課後講座を開講。
- ②特別選抜類型と特別進学コースで毎朝主要3教科の小テストを行い、学習習慣の確立を図る。成績下位者は放課後フォロー講座を実施。
- ③学習支援センターのサポート体制は定着。
- ④探究活動の推進
連携外部機関の検索・打診、日本地理学会への参加、校外フィールドワーク、地元地域調査の実施。

■重点課題② サポート体制の充実

（1）部活動の活性化

- ①部活動において専門知識を有する部活動指導者の拡充。
- ②高いレベルでの文武両道の実現
*クラス担任とクラブ顧問が連携し、進路目標と部活動目標に導く
進学一スポーツコース60名のうち4年制大学37名合格（内国公立2名）。
大会成績—全国大会3団体、北信越大会7団体、県大会13団体となり、前年度を上回った。

（2）生徒会活動の活性化

- ①地域ボランティア活動の実践
*通学路花いっぱい運動（継続）
*全校クリーンキャンペーン（継続）
- ②地域との交流—ボランティア部での地域の保育園との交流
- ③地域行政との関わり
*塩尻市議会の地域活性化アンケートへの対応実施。

■重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上

- ①Zoomによる進学指導・受験指導の特化のためのスキルアップ研修会を実施。
- ②教科会主催の授業研究活動を行い教科会実施。

■重点課題④-1 ICTを利用した教育計画

- *1年生全員i-Pad購入。
- *ICT教育推進：Wi-Fi機器の拡張整備（校舎内のどこでも受信可能）

■重点課題④-2 国際化計画

コロナウイルス感染拡大に伴い、既存の国際教育活動（海外からの留学生や訪問団の受け入れ・イングリッシュキャンプ国内Homestay・ston Harvard forum（オンライン）・フィリピンオンライン語学研修・中国語講座・韓国語講座、Mount Gravatt High SchoolおよびフィリピンCPU高校とのオンライン交流実施。

■重点目標Ⅱ グループ間連携の進化・拡大

■重点課題① 各学校の連携強化

＊探究コース

都市大を含む大学の教授陣による本校生徒へのオンラインでの研究指導、都市大を含む大学やその他の機関から助言者を招いての本校での研究発表会実施を3月実施。

＊魅力ある高大連携への検討

- ・大学の教授による研究指導を実施していただいた。
- ・大学の授業を遠隔授業の形で聴講し、本校生徒3名が大学の単位認定。
- ・グループ高校間での情報交換（Zoom）を実施。

■重点目標Ⅲ 教育環境の整備・充実

■重点課題① 学習環境の整備・充実

＊選択教室は旧PC室を整備し1教室増とした。

■重点課題② 効率的業務の推進

＊募集業務において、長野県初のインターネット出願を導入し、入試業務の効率化を図った。

■学校独自の重点項目 コース再編計画

＊新コースではなく、新類型として「スポーツ進学類型」を立ち上げた。

■進路指導

1) 進学実績 国公立大学合格

① 合格実績

- ・国公立大学合格：23名（現役）[東北大学1名、東京藝大1名、新潟大学4名等]
- ・私立大学合格：189名（現役）[東京都市大学7名、GMARCH8名、成成明国武9名、日東駒専26名等]